

電子部品・デバイスの実装



●マイクロ波用同軸コネクタおよびケーブルアセンブリ、コンポーネントの製造販売

株式会社オリエントマイクロウェーブ

▶TEL: 0749-45-8111 FAX: 0749-45-8131
▶URL: <http://www.orient-microwave.com/>

宇宙時代の先端技術を支える国際品質のマイクロ波製品を提供

ここが
スゴイ!

マイクロ波製品の要となるフェライト材料や一部誘電材料を生産するオリエントマイクロウェーブ。材料の調合から焼成・加工まですべて自社で行っている。宇宙開発、通信、レーダーまで、コネクタやケーブルアセンブリをはじめとして、あらゆるマイクロ波製品を提供している。



標準サイズコネクタから特殊コネクタまであらゆるニーズに対応



大電力導波管 アイソレータ・サーキュレータ

事業概要と躍進の契機

大型放射線施設(スプリング8)にも採用された確かな品質

起業当時は、アメリカから製品を輸入販売していたが、2002年に主要取引先からフェライト事業の譲渡を受けた。また兵庫県にある「大型放射光施設(スプリング8)」で製品が採用され、その品質の高さで注目を集めた。それを契機として、ヨーロッパをはじめ、世界に認められる存在となった。

会社の強み・主力商品など

電波を遮断する「電波暗室」や「クリーンルーム」も設置し、製品精度を向上

標準製品をそのまま納品するのではなく、細かな仕様の変更など様々な顧客の要望にきめ細かく対応する。さらに最近ではパーツ単体ではなく、パーツを組み合わせたコンポーネントからシステム全体までを扱う製品の比率が高まっている。製造工程においても8m×8m×12mの巨大な空間で、一切の電波を遮断した環境で機器を検査できる「電波暗室」をはじめ、「静電気対策」「無塵対策(クリーンルーム)」を施し、製品精度の向上を図っている。

今後の事業展開

マイクロウェーブ用製品の研究開発に専念

電気自動車の充電や宇宙から電気を伝送するなど、電力を無線で送る技術に期待されるマイクロウェーブ用製品の研究開発に専念し、独創的な製品を供給していく予定である。

●企業プロフィール

〒527-0135 滋賀県東近江市横溝町2275番地
代表取締役 加藤喜康
設立:1983年(昭和58年)
従業員数:85名
資本金:4,600万円

企業メッセージ

「東洋を舞台に」と願ってつけた「オリエントマイクロウェーブ」。その名に相応しく、東南アジアやインドとの取引も開始した。これからは宇宙や航空、防衛の分野で「アンテナビジネス」の時代を迎えることから、より小型で放射効率の高い製品の開発に挑戦していきたいと考えています。

代表取締役 加藤喜康



■用語解説

マイクロ波: 電波の周波数による分類の一つであり、「マイクロ」は、電波の中で最も短い波長域であることを意味する。一般的には波長1mから100μm、周波数300MHzから3THzの電波(電磁波)を指す。電子レンジをはじめ、衛星テレビ放送、レーダーなど様々な分野で使用されている。